



2023年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年9月8日

上場会社名 株式会社ミロク 上場取引所 東
 コード番号 7983 URL <https://www.miroku-jp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 弥勒 美彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 古味 俊雄 TEL 088-863-3310
 四半期報告書提出予定日 2023年9月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第3四半期の連結業績（2022年11月1日～2023年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第3四半期	8,757	6.3	631	△6.3	831	4.8	558	8.2
2022年10月期第3四半期	8,242	—	673	—	793	—	516	—

(注) 包括利益 2023年10月期第3四半期 879百万円 (39.7%) 2022年10月期第3四半期 629百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第3四半期	189.33	—
2022年10月期第3四半期	175.04	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年10月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第3四半期	20,255	15,414	76.1
2022年10月期	19,272	14,654	76.0

(参考) 自己資本 2023年10月期第3四半期 15,414百万円 2022年10月期 14,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2023年10月期	—	20.00	—	—	—
2023年10月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年10月期の連結業績予想（2022年11月1日～2023年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,040	5.0	790	19.7	950	17.4	620	21.1	210.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年10月期3Q	3,005,441株	2022年10月期	3,005,441株
② 期末自己株式数	2023年10月期3Q	55,189株	2022年10月期	55,126株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年10月期3Q	2,950,275株	2022年10月期3Q	2,950,428株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として物価高が続く状況ではありましたが、経済活動の正常化や所得環境の改善、政府による各種政策の効果等により、個人消費や設備投資は持ち直しの動きとなっており、景気は緩やかに回復しております。一方、海外においてはウクライナ情勢の長期化によるエネルギー価格の高騰、先進国におけるインフレ等、世界経済の先行き減速が懸念されております。

このような状況のもと、当社グループは会社に関わるすべての人々に比類のない喜びと感動を与えるため、高品質な製品とサービスを世界へ提供することをミッションに、グループ一丸となって業績向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,757百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は631百万円（同比6.3%減）、経常利益は831百万円（同比4.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は558百万円（同比8.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（猟銃事業）

米国市場は、金融引き締め長期化によって今後景気が減速していくという予測のなか、個人消費は依然手堅く、当社製品のOEM供給先であるブローニンググループからの受注は堅調に推移しております。特に主力製品である上下二連銃の付加価値の高い製品が好調であったことや、すべてのモデルでフル生産の状況が続いたこともあり、売上高は7,235百万円（前年同期比8.6%増）、セグメント利益（営業利益）は625百万円（同比6.3%増）となりました。

（工作機械事業）

機械部門の販売は、前年同期並みで推移しました。ツール部門及び加工部門は、販売先工場の稼働の停滞等により、売上高は前年同期に比べ減少しました。また、材料費やエネルギー価格の高騰等により、利益も前年同期に比べ減少しました。その結果、売上高は1,541百万円（前年同期比1.6%減）、セグメント利益（営業利益）は203百万円（同比23.8%減）となりました。売上高につきましては、セグメント間の内部売上高51百万円を含んでおります。

（その他事業）

その他事業の売上高は34百万円（前年同期比7.3%減）、セグメント損失（営業損失）は5百万円（前年同期は9百万円の損失）となりました。売上高につきましては、セグメント間の内部売上高2百万円を含んでおります。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

資産合計は前連結会計年度末に比べて983百万円増加し、20,255百万円となりました。

主な要因は、現金及び預金が676百万円減少したものの、棚卸資産が962百万円、投資有価証券が629百万円増加したこと等によるものであります。

（負債）

負債合計は前連結会計年度末に比べて224百万円増加し、4,841百万円となりました。

主な要因は、未払法人税等が156百万円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金300百万円、長期借入金200百万円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

純資産合計は前連結会計年度末に比べて759百万円増加し、15,414百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が438百万円、その他有価証券評価差額金が329百万円増加したこと等によるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,814,904	1,138,213
受取手形及び売掛金	1,862,188	2,002,060
棚卸資産	5,085,957	6,048,760
その他	462,461	384,811
貸倒引当金	△52	△57
流動資産合計	9,225,459	9,573,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,342,667	1,405,193
機械装置及び運搬具（純額）	1,860,133	2,055,120
土地	2,543,918	2,543,918
その他（純額）	538,457	291,257
有形固定資産合計	6,285,177	6,295,489
無形固定資産	87,430	85,548
投資その他の資産		
投資有価証券	3,038,170	3,667,959
その他	649,095	646,122
貸倒引当金	△12,991	△12,991
投資その他の資産合計	3,674,273	4,301,090
固定資産合計	10,046,882	10,682,128
資産合計	19,272,341	20,255,917

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,201,218	1,164,331
1年内返済予定の長期借入金	—	300,000
未払法人税等	237,890	81,448
賞与引当金	301,232	222,468
役員賞与引当金	31,867	23,999
その他	944,290	765,250
流動負債合計	2,716,497	2,557,498
固定負債		
長期借入金	700,000	900,000
役員退職慰労引当金	195,897	201,949
退職給付に係る負債	648,454	688,740
その他	356,611	493,566
固定負債合計	1,900,963	2,284,257
負債合計	4,617,461	4,841,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,126	863,126
資本剰余金	553,778	553,778
利益剰余金	12,472,286	12,910,781
自己株式	△31,276	△31,369
株主資本合計	13,857,915	14,296,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	725,028	1,054,381
為替換算調整勘定	71,936	63,462
その他の包括利益累計額合計	796,964	1,117,844
純資産合計	14,654,880	15,414,160
負債純資産合計	19,272,341	20,255,917

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
売上高	8,242,724	8,757,981
売上原価	6,704,030	7,158,437
売上総利益	1,538,694	1,599,544
販売費及び一般管理費	865,320	968,408
営業利益	673,374	631,135
営業外収益		
受取配当金	39,662	46,340
持分法による投資利益	—	66,066
助成金収入	40,647	14,813
スクラップ売却益	45,974	41,379
その他	26,486	37,136
営業外収益合計	152,770	205,738
営業外費用		
支払利息	656	1,443
シンジケートローン手数料	—	1,828
持分法による投資損失	30,620	—
その他	1,789	2,283
営業外費用合計	33,065	5,555
経常利益	793,079	831,318
税金等調整前四半期純利益	793,079	831,318
法人税等	276,636	272,754
四半期純利益	516,442	558,563
親会社株主に帰属する四半期純利益	516,442	558,563

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年11月1日 至 2022年7月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年11月1日 至 2023年7月31日）
四半期純利益	516,442	558,563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,655	316,947
為替換算調整勘定	17,238	△5,987
持分法適用会社に対する持分相当額	11,234	9,918
その他の包括利益合計	113,128	320,879
四半期包括利益	629,571	879,442
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	629,571	879,442

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年11月1日 至 2022年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃事業	工作機械 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,663,017	1,550,486	8,213,504	29,219	8,242,724	—	8,242,724
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	16,171	16,171	8,483	24,655	△24,655	—
計	6,663,017	1,566,658	8,229,675	37,703	8,267,379	△24,655	8,242,724
セグメント利益 又は損失(△)	588,379	266,934	855,314	△9,147	846,167	△172,792	673,374

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、IT/IoT/AI事業、木材関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△172,792千円には、セグメント間取引消去2,488千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△175,281千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年11月1日 至 2023年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃事業	工作機械 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,235,557	1,490,176	8,725,733	32,247	8,757,981	—	8,757,981
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	51,446	51,446	2,704	54,151	△54,151	—
計	7,235,557	1,541,622	8,777,179	34,952	8,812,132	△54,151	8,757,981
セグメント利益 又は損失(△)	625,719	203,340	829,059	△5,867	823,191	△192,056	631,135

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、IT/IoT/AI事業、木材関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△192,056千円には、セグメント間取引消去3,526千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△195,582千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。